

(報告書様式)

記載例

令和 年 月 日

塩尻市農業委員会長 様

法人の事業年度の始まり
終わりの年月日の記載を
してください。

所在地 塩尻市大門7番町○
団体名 株式会社塩尻ファーム
代表者 塩尻 太郎

農地等の利用状況報告書

(事業年度：令和7年 4月 1日 ~令和8年 3月 31日)

農地法第3条第3項の規定により同条第1項の許可を受けて使用貸借による権利又は賃借権の設定を受けた農地又は採草放牧地及び農地中間管理事業の推進に関する法律第18条第7項の規定による公告があった農用地利用集積等促進計画の定めるところにより賃借権又は使用貸借による権利の設定又は移転を受けた農地又は採草放牧地（以下「農地等」という）について、農地法第6条の2第1項の規定に基づき、下記のとおり報告します。

記

- 1 農地法第3条第3項の規定により同条第1項の許可を受けた者及び農地中間管理事業の推進に関する法律第18条第5項第3号に規定する者の氏名等

| 氏名 | 住所 |
|---------------------|-----------|
| 株式会社塩尻ファーム 塩尻 太郎 | 塩尻市大門7番町○ |

- 2 報告に係る土地の所在等

| 所在 | 地番 | 地目 | | 面積 (㎡) | 作物の種類別 作付面積（又 は栽培面積） (㎡) | 生産数量 (kg) | 反収 (kg/10a) | 備考 |
|----|-----|-----|----|-----------|-----------------------------------|--------------|----------------|----|
| | | 登記簿 | 現況 | | | | | |
| ○○ | 100 | 田 | 田 | 650 | 水稻 | 260 | 400 | |
| ○○ | 101 | 畑 | 畑 | 1,000 | とうもろこ し | 800 | 800 | |
| ○○ | 125 | 畑 | 畑 | 2,350 | トマト | 4,700 | 2,000 | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |

10a(1,000㎡)あたりの収穫量を記載してください。
計算式 生産数量(kg)÷面積(㎡)×1,000

3 農地等の周辺の農地又は採草放牧地の農業上の利用に及ぼしている影響

(例)

- ・農薬散布前には周辺農家と相談している
- ・病虫害の温床となる雑草を繁茂させないように約月1回の草刈りを実施している

4 地域の農業における他の農業者との役割分担の状況

(例)

- ・地域の農業用水路の清掃活動に参加している。
- ・地区での事業発展に関する話し合い活動に参加している。

5 業務執行役員又は重要な使用人の状況

| 氏名 | 常時従事者の役職名 | 耕作又は養畜の事業の年間従事日数 |
|-------|-----------|------------------|
| 塩尻 太郎 | 代表取締役 | 250 日 |
| 塩尻 花子 | 取締役 | 150 日 |

当該事業年度において法人の行う耕作又は養畜の事業に常時従事した業務執行役員(耕作又は養畜の事業に常時従事した業務執行役員がない場合には、重要な使用人)について記載してください。

※農業に常時従事するとは、農作業に限定されるものではなく、営農計画の作成やマーケティング等の営農に係る業務も含まれます。

6 その他参考となるべき事項

(1) 農作業従事者数 (5の業務執行役員以外の者)

| 農作業従事者数 (常勤) | 農作業従事者数 (非常勤) 常時従事する者以外の者の1日あたりの平均従事人数 |
|--------------|---|
| 1 人 | 2 人 |

(2) その他

業務執行役員以外の方が従事している場合、
人数を記載してください。

提出にあたっての注意事項

- 1 本報告は、賃借権の設定等の存続期間中、毎年提出してください。
- 2 本報告は、毎事業年度終了後3カ月以内に提出してください。
- 3 添付書類 定款の写し
- 4 提出先
塩尻市農業委員会事務局
〒399-0786 長野県塩尻市大門七番町3番3号
Eメール: noui@city.shiojiri.lg.jp

(記載要領)

- 1 記の2の「報告に係る土地の所在等」の備考欄には、登記簿上の所有名義人と現在の所有者が異なるときに登記簿上の所有者を記載してください。
- 2 記の3の「農地等の周辺の農地又は採草放牧地の農業上の利用に及ぼしている影響」には、例えば、病害虫の温床となっている雑草の刈取りをせず、周辺の作物に著しい被害を与えていないか等を記載してください。
- 3 記の4の「地域の農業における他の農業者との役割分担の状況」には、例えば、農業の維持発展に関する話し合い活動への参加、道路、水路、ため池等の共同利用施設の取決めの遵守、獣害被害対策への協力等の取り組み状況（今後取り組む場合はその見込み）について記載してください。
- 4 記の5の「耕作又は養畜の事業の年間従事日数」欄には、当該事業年度において法人の行う耕作又は養畜の事業に常時従事した業務執行役員（耕作又は養畜の事業に常時従事した業務執行役員がいない場合には、重要な使用人）の耕作又は養畜の事業への年間従事日数を記載してください。なお、「重要な使用人」とは、その法人の使用人であって、当該法人の行う耕作又は養畜の事業に関する権限及び責任を有する者をいいます。